

平成 28 年 11 月 25 日

～現役学生が起業したベンチャー企業へのプレ投資案件～  
**QB 第一号ファンド 「株式会社 日本風洞製作所」 への出資について**

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、初めてのプレ投資<sup>※1</sup>案件となる「株式会社 日本風洞製作所（代表取締役 ローン・ジョシュア）」（以下「当社」）への出資を行いましたので、お知らせします。

当社は、国立大学法人九州大学の現役学生であるローン・ジョシュア氏が起業したベンチャー企業で、当社の取り組む高効率風力発電機の開発が、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（略称：「NEDO」）の平成 28 年度「シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援助成金」に、福岡県で初めて、また、現役学生が起業したベンチャー企業として全国で初めて採択されました。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

※1：プレ投資とは、事業化を目指すシーズ段階の技術に対する投資のこと。

記

1. 対象企業の概要

会 社 名	株式会社 日本風洞製作所
本 社 住 所	福岡県久留米市荒木町藤田 1147-5
代 表 者	代表取締役 ローン・ジョシュア
設 立	平成 28 年 10 月
事 業 内 容	高効率風力発電機の開発・製造・販売等
資 金 使 途	風力発電機のための後付け 2 重プロペラ化アタッチメントの開発資金等

2. 出資の理由

本件は、本ファンドの特徴であるプレ投資機能を活かし、当社の研究開発シーズの事業化を支援するものであり、当社の下記の点を評価し出資を行いました。

(1) 将来性

風力発電等の再生可能エネルギーの導入メリットは、地球温暖化対策に関するグローバルなものから、エネルギー自給率の向上や化石燃料調達資金の削減など我が国のエネルギー政策に関するものが多岐に渡っており、再生可能エネルギーの発電技術の高度化が求められている。

(2) 高い技術力

当社の開発する技術が実用化されることで、コスト・効率・起動性の 3 点においてより優れた風力発電機の製造が可能となる（ローン・ジョシュア氏が特許保有）。

(3) 地域経済の活性化

九州地域の大学の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待される。

以 上

参考

『QB第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

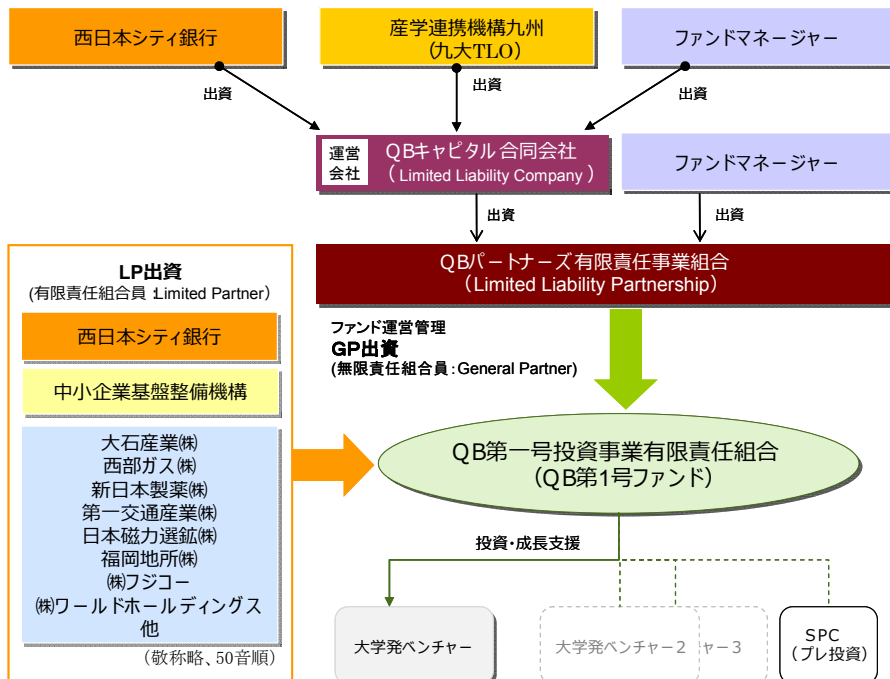
1. ファンドの概要

名称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設立日	平成 27 年 9 月
ファンド総額	約 31 億円
無限責任組合員 (GP: General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有限責任組合員 (LP: Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存続期間	10 年間

2. 運営会社の概要

名称	QB キャピタル合同会社
設立日	平成 27 年 4 月
所在地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出資者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代表社員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先  
 法人ソリューション部 渡辺・折尾 TEL092-476-2741